

～ 神戸空港・フジドリームエアラインズの知名度向上、利用者増に向けた提案 ～

活動の様子



FDA機内で座席の広さを体感



フィールドワークの振り返りを実施



学生の司会で提案プレゼンテーション会を開催



提案内容をグループごとに検討

企画・活動概要

株式会社フジドリームエアラインズ(FDA)の知名度向上や神戸発着を中心とした利用者増に資する企画テーマを考え、岡田恵実ゼミナールの学生たちが提案を行いました。
まず、学生たちが神戸空港及びFDA神戸営業支店を訪問し、先方からの説明や情報交換、現場視察を通じて神戸空港の状況やFDAに対する理解を深めました。その後、現地での学びをベースにさらなる調査や検討を重ね、学生が考える知名度向上、利用者増に向けた企画提案プレゼンテーションを行いました。



企業から提案へのフィードバックと意見交換

経緯・背景・目的

FDAは、2009年に運航を開始した地域航空会社です。現在は、静岡空港・名古屋空港・神戸空港の3空港を主なハブ拠点とし、北海道から鹿児島まで、日本全国にネットワークを展開しています。神戸空港には2019年に就航しましたが、その直後に起きた新型コロナウイルスの感染拡大による影響の長期化に伴い、地域での知名度を高めていく必要を感じています。そこで、FDAの知名度向上や神戸空港発着を中心とした利用者増に資する提案を学生が行い、採用されればその提案の実現に向けて具体的に活動することを目指しました。



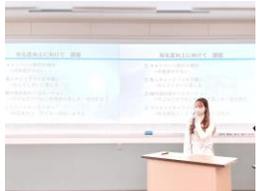
フィールドワークで意識が高まる学生たち

取り組む課題

FDAの知名度向上や神戸空港発着を中心とした利用者増にむけて、「外部視点、特に若者・学生である自分たちだからこそできる」提案だけで終わらず、課題解決、目的達成に向けて実際に活動を行う」ことを意識した提案づくりを行いました。

本学(学生)の役割

前述のとおり、本学学生の役割は、FDAの知名度向上や神戸空港発着を中心とした利用者増に向けて学生ならではの提案を行うことでした。具体的には、2年ゼミ生16名が4グループに分かれ、自分たちの感覚を大事にした多くのアイデアを出す形で提案をまとめました。



提案プレゼンテーションの様子

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

FDAに対し、学生から14の提案を行いました。提案に向けての調査・検討に際しては、全て学生たちが自ら課題設定、スケジュール管理を行いながら資料を準備し、プレゼン資料及び発表の相互ブラッシュアップ等を行ってきました。また、当日のプレゼンテーション、その後の意見交換においても学生は企業の方と対等に話をしていました。今回の取組を「ジブンコト」として捉え、主体的に考え行動する力を身につけたと感じています。同社にて提案を検討いただき、次年度いくつかの提案について活動を行うという成果も得られました。



提案のいくつかは今後実際に活動していきます

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



商学部
経営学科
講師
岡田 恵実(オカダ エミ)

<専門・担当科目等>
教養特講Ⅰ(起業家を知る)、教養特講Ⅱ(起業・事業承継)、中小企業論、ビジネスプラン編 等

岡田恵実ゼミナール(通称・たえみゼミ)は、起業やプロジェクトを切り口に学生ひとりひとりが自分の人生を自分でつくり、未来に向けて行動することを目指しています。自分自身の思いに基づいたマイプロジェクトや社会共創活動の実践を積極的に行っています。

<関係者・企業等>

株式会社フジドリームエアラインズ(FDA)
神戸営業支店 支店長
瀬尾 秀彰(セオ ヒデアキ)